

## 医療における「安全」の再構築を図り、 国民の信頼を取り戻すために

先般、京都大学医学部附属病院において、人工呼吸器の加湿器に誤ってエタノールを補充し、患者さんが亡くなられるという医療事故が起きました。医療の現場においては、単純なミスが極めて重大な結果を招くことがあるということを、改めて思い知らされるとともに、いままでの事故防止に向けた取り組みを顧みつつ、痛切な悔恨の念を禁じ得ません。

今回の事故は、ひとり京都大学医学部附属病院だけの問題ではなく、各国立大学医学部附属病院が、自らの問題として重く受け止め、医療における「安全」を再構築するため、全力を挙げて取り組んでいかなければならないと考えます。

このため、先ずは、昨年11月に当常置委員会に設置されました、「医療事故防止方策の策定に関する作業部会」において、今回の事故の教訓も踏まえた、医療事故の防止・医療の安全性の向上を図るための具体的方策を早急に取りまとめ、各国立大学附属病院での取り組みの抜本的な充実を図ってまいりたい所存です。

しかし、真に医療事故の防止・医療の安全性の向上を図り、医療に対する国民の信頼を回復するためには、医療は患者さんのためにあるという、当たり前の原点をしっかりと踏まえることが重要であると考えます。このことが、医療に携わるすべての者の心に本当に根付いていなければ、どのような事故防止対策を講じても、形骸化してしまうことは避けられないでしょう。すべての取り組みは、先ず、自らの医療の在り方を厳しく見つめ直すことから始めなければならないと考えます。

このような認識の下に、われわれは、今一度医療の原点に立ち返り、常に「患者さん本位の医療」の実践に心を砕き、その上に、医療における「安全」を再構築すべく、真摯な努力を積み重ねていくことを誓います。

平成12年3月22日

国立大学医学部附属病院長会議  
常置委員会委員長  
千葉大学医学部附属病院長

山 浦 晶

国立大学医学部附属病院長会議常置委員会

北海道大学医学部附属病院長	藤本 征一郎
東北大学医学部附属病院長	吉本 高 志
千葉大学医学部附属病院長	山 浦 晶
東京大学医学部附属病院長	武谷 雄 二
東京医科歯科大学医学部附属病院長	沼野 藤 夫
名古屋大学医学部附属病院長	齋藤 英彦
京都大学医学部附属病院長	本田 孔士
大阪大学医学部附属病院長	岡 田 正
岡山大学医学部附属病院長	荒田 次郎
高知医科大学医学部附属病院長	相良 祐輔
九州大学医学部附属病院長	中野 仁雄
琉球大学医学部附属病院長	小 椋 力
福井医科大学医学部附属病院長	上田 惠一
鳥取大学医学部附属病院長	三原 基之
熊本大学医学部附属病院長	生塩 之敬